



多読賞レース始まっています！

ゴールデンウィークも終わってしまい、バタバタした4月から、落ち着いた5月に入りました。今学期も多読賞がスタートしています。締め切りは7月3日(金)、上位5名までが表彰対象となります。多読賞は学期毎に、年三回あるので、一年生も頑張ってお賞を目指しましょう♪図書館初エディションに行った毎年恒例の【マンガアンケート】結果が出ましたので、来月お知らせします♪どれが選ばれたのか？お楽しみに。



New Cinema Paradise

観てから読むか？読んでから観るか？

君のクイズ 2023年日本推理作家協会賞受賞及び本屋大賞ノミネート作品が映像化。監督は『ハケンアニメ!』や『沈黙の艦隊』シリーズの吉野耕平。クイズプレイヤーの脳内で繰り広げられる思考の迷宮を、かつてないVFX表現でスタイリッシュに可視化する。主演の中村倫也、そして神木隆之介、ムロツヨシという実力俳優優美との共演により、知略と情熱がぶつかり合う、極上の“クイズ・ミステリー”が誕生。



『君のクイズ』 小川哲 朝日新聞出版

クイズ番組の決勝に出場した三島玲央は、対戦相手が問題が読まれぬうちにボタンを押し正解し、優勝を果たすという不可解な事態を訝しむ。決勝を1問ずつ振り返る三島はやがて…。

賞金1000万円を賭けて戦う生放送クイズ番組“Q-1グランプリ”の決勝戦。日本中が注目する中、“クイズ界の絶対王者”・三島玲央と“世界を頭の中に保存した男”・本庄絆は共に優勝まであと一問と、王手をかけた。そして迎えた最終問題、早押しクイズ。張り詰めた空気の中、本庄は問題を1文字も聞かずに回答ボタンを押す。会場がどよめく中、なんと正解を言い当て、優勝者となった。やらせ？トリック？それとも魔法？三島は前代未聞の「謎クイズ」に挑む。

check Book Topic

手塚治虫文化賞「マンガ大賞」 & 『マンガ大賞2026』 W受賞



『本なら売れるほど』 児島 貴 KADOKAWA

初連載作品が名誉ある漫画賞をW受賞。まだ三巻目。作者の人生の合言葉は「ほどほどに流される」だそうで、その穏やかな作風にも表れている。詳しいプロフィールなどは公表されておらず、全てが謎。子どもの時から本がある環境にいて、コロナ禍で描いた漫画が編集者の目に留まりデビュー。「本を読むのが苦手な本好きがいてもいい」との発言からも人柄がうかがえる。

ここでは、本と人ともう一度会い直す場所。ひつつめ髪気だるげな青年が営む古本屋「十月堂」。店主の人柄と素敵な品ぞろえに惹かれて、今日もいろんなお客が訪れる。本好きの常連さん、背伸びしたい年頃の女子高生、不要な本を捨てに来る男、夫の蔵書を売りに来た未亡人。ふと手にした一冊の本が、思わぬ縁をつないでいく。本を愛し、本に人生を変えられたすべての人へ贈る。

continue to the back

New Arrival Books



理科の先生のメガネ かけてみると世界が変わる 矢野 充博 ミネルヴァ書房

理科の矢野先生の頭の中を覗いてみよう！科学を学び、未来をつかめ。ふだんの景色が驚くほど彩る。理科は何のために学んでいる？理科教育のフロントランナー・矢野充博が、観察と実験の面白さを紹介。気付きの大切さを伝える。



青天

若林 正恭 文藝春秋

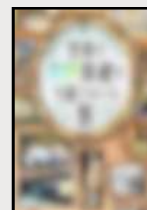
オードリー・若林正恭の初小説。人にぶつかっていないと、自分が生きているかどうかかわらなくなる。「アリ」こと中村昂が所属する弱小アメフト部。引退大会でも強豪校に打ち砕かれて終わる。グラウンドで味わった痛みと、自分への苛立ちが胸に残り…。



人と動物をめぐるフォークロア

八木 透 淡交社

日本の民俗に「より善き人と動物の関係」をたずねる。日本を中心に、民間伝承や信仰に伝えられる「人と動物」が関係する事例を、動物別にわけて解説。如何なる生き物たちがどのような神仏と関わりを持ち、人々の信仰の対象とされてきたかを、民俗学の視点から考察する。



世界の超絶美術を1冊でめぐる旅

山上 やすお ダイアモンド社

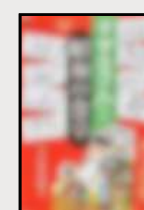
本で行く世界一周美術77。知識ゼロの人から、美術好きまで語りたくなる一冊。世界と日本の美術館で傑出した名画を観る感動体験を味わえる本。美術専門・海外旅行添乗員が、ミュザ美術館「花四部作」、パリの「ラ座」「夢の花束」、京都国立博物館「泉流涅槃図」等を会話形式で楽しくガイドする。



テミスの不確かな法廷

松本 猛 コールサック社

社会に交わり、ままたらぬ心身と向き合い、罪を裁く。感情を支配するのは、脳か心か？。任官七年目の裁判官・安堂清春は、幼い頃発達障害と診断され、自身の特性と向き合ってきた。市長候補が襲われた傷害事件など、さまざまな事件と人との出会いを通じ、安堂は裁判官として、ひとりの人間として成長していく。1月から3月NHKでドラマ化し放送。



サザエさんと昭和の食卓

長谷川町子 朝日新聞出版

梅ぼし、羊羹、大食堂、桃の缶詰、重箱…。長谷川町子が描いた昭和の漫画「サザエさん」の中から「食」にまつわる作品に、解説や当時の写真を添えて収録。「町子が描いた食べもの」展のグラフィックも掲載する。豆腐の購入方法、バナナの価値など、令和の今と昭和の『食』の違いに注目です。